

氏 名：鈴木 みゆき

学位の種類：博士（看護学）

学位記番号：甲第 247 号

学位授与年月日：2024 年 3 月 8 日

学位授与の要件：学位規則第 5 条第 1 項該当

論文審査委員：主査 八重 ゆかり（聖路加国際大学 教授）

副査 麻原 きよみ（聖路加国際大学 教授）

副査 歌川 光一（聖路加国際大学 准教授）

副査 宮坂 清之（聖路加国際病院 麻酔科 医幹）

論文題目：小学校における教員のための一次救命処置（Basic Life Support）  
研修プログラムの開発と評価

#### 博士論文審査結果

審査における主な指摘は以下であった。

- 1) 一次救命処置教育プログラム介入後にスキルと知識の有意な得点の上昇や受講者の行動変容もあり良い結果が得られたと考えられるので、看護関連雑誌へ研究の成果を投稿するとよい。
- 2) 開発した教育プログラムが国際的にはどのように評価されるか、また看護学への貢献について、考察に加筆する。
- 3) 背景で取り上げた一次救命処置に関する①緊急時の判断・対応能力、②学校の危機管理体制、③教員の危機意識・心理的、という問題点から、研究目的の「一次救命処置における配慮についてのスキル」、「配慮に関する知識」、「一次救命処置に関する危機意識・心理」という 3 つの評価項目がどのように導き出されたのかの説明を背景に追加する。
- 4) 研究対象者をメイングループとサブグループに分類しているが、サブグループの校長から得られる情報は、学校の危機管理体制という、メイングループが置かれた環境に関する情報であるので、そのことが分かるような記述とする。
- 5) 分析方法と結果の提示を、メイングループ対象者のデータで教育プログラム介入効果を分析し、サブグループの情報はその分析を行うときの背景情報として用いたことを明確に示す。
- 6) 分析対象とできた対象者数が測定時点で異なっているが、対象者属性の分析は最初に得られた最大人数で示し、また、測定時点ごとにデータが得られた人数で分析する。
- 7) 検定結果を示した表には、検定ごとに正確な P 値を示し、 $P < 0.05$ 、 $P < 0.01$  という表記や\*での表示は原則用いず、 $< 0.001$  に該当する場合のみに  $P < 0.001$  とするなど、表記法を統一する。

以上の指摘に対して、適切な修正がなされたことを主査、副査で確認した。

本研究で開発・評価した、小学校教員のための一次救命処置研修プログラムは、救命処置方法そのものに加えて、小学校という場において教員が一次救命処置を行う時に求められる様々な配慮に関する内容が盛り込まれたものであり、学校教育現場に特化したプログラムであることが研究のオリジナリティの点から高く評価されるものであった。

以上により、本論文は、本学学位規程第5条に定める博士（看護学）の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。